

令和2年度

朝日町予算の重点・新規事業概要



富山県朝日町

令和2年度 予算規模

(1)一般会計		79億318万円 (過去6番目の規模)	(対前年度伸率0.4%)
(2)特別会計			
	病院事業会計	40億8,551万6千円	(対前年度伸率△6.9%)
	下水道特別会計	12億1,872万6千円	(対前年度伸率△4.2%)
	その他〔5〕特別会計	17億9,851万6千円	(対前年度伸率0.03%)
	小計	71億275万8千円	(対前年度伸率△4.8%)
	合計(1)+(2)	150億593万8千円	(対前年度伸率△2.1%)

子育て・教育（町の「宝」を守り育てる）

* 子育て支援

（継続）おうちで子育て応援事業

34,380千円

- ・助成対象児童：生後6月～満3歳の保育所未入所児童
- ・助成対象者：対象児童の保護者で一定の要件を満たす者
- ・支給額：生後6月～満2歳の誕生日⇒月額6万円

満2歳の誕生日の翌月～満3歳の誕生日⇒月額3万円

子育て支援事業 住民・子ども課

（継続）あいのトキめき婚姻・出生祝福事業

5,867千円

- ・次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、その健全な育成を願い、誕生祝金等を支給する。

あいのトキめき婚姻・出生祝福事業

住民・子ども課

* 学校教育

新 朝日町型小中連携教育推進事業

171千円

- ・小中ギャップへの対応等、義務教育9年間を見据えた継続指導等を行うためのガイドラインを作成し、今後の連携体制のあり方や取り組みを検討し、「朝日町型小中連携教育」を推進する。

教育委員会費 他 教育委員会事務局

新 学習者用デジタル教科書導入

672千円

- ・新学習指導要領の全面実施に伴い、学力向上に効果があるとされる学習者用デジタル教科書を小学校において導入し、教科指導におけるICT教育環境の充実を図る。

教育振興費 教育委員会事務局

子育て・教育（町の「宝」を守り育てる）

* スポーツ

新 東京2020オリンピック聖火リレー
1,304千円

・東京2020オリンピック競技大会の開催に伴い、聖火リレーが実施され、聖火リレーの出発地において『ミニセレブレーション』を実施し、聖火リレーの盛り上げを図る。

社会体育事業 教育委員会事務局

新 東京2020パラリンピック
聖火フェスティバル
117千円

・県内市町村が独自の手法で採火した火を、富山県から東京都へ送り出すため、朝日町の火を採る採火イベントを実施する。

障害者福祉費 健康課

* 文化

（継続）ふるさと美術館展覧会委託事業
5,000千円

・郷土作家展、特別展、館蔵品展等開催
芸術文化振興事業 教育委員会事務局

（継続）まいぶんKAN事業
2,354千円

・企画展「おかえりなさい境A遺跡展」等開催
埋蔵文化財保存活用施設運営費 教育委員会事務局



健康・福祉(いつまでも元気で笑顔を保つ)

* 健康

(継続)健康増進事業

30,437千円

・各種健診の実施により、疾患の早期発見・早期治療につなげ、住民の健康増進を図る。

健康診査費 他 保健センター

* 福祉・介護

新 フレイル予防事業

1,140千円

・健康と要介護状態の間の心身ともに弱っている状態(フレイル)の高齢者を、早期予防に取り組むことで健康寿命の延伸につなげる。あわせてフレイルチェックを行うフレイル予防サポーターを養成する。

地域包括ケア推進事業 健康課

新 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

20千円

要援護高齢者対策費 健康課



新 コミュニティ・メディカルデザイナー

養成講座

464千円

・デザイン思考や地域医療・まちづくりのイノベーション方法を学び、地域の医療・福祉・保健・介護を通して地域の生活基盤を支える人材を養成する。

地域包括ケア推進事業 健康課

* 医療

(継続)あさひ総合病院への一般会計繰出金

418,714千円

病院費 財務課

(継続)医療体制推進寄附講座

23,000千円

・富山大学附属病院との寄附講座(サテライト方式)の開設

医療体制推進費 財務課

産業振興(町の活力を生み出す)

* 農林水産業

新 研修宿泊施設管理運営費

11,698千円

・整備した研修宿泊施設にて町外からの就農者を受け入れ、町の農業の後継者不足を解消するとともに、定住人口の増加を図る。

研修宿泊施設管理運営費
農林水産課



新 漁業施設等 整備事業

9,808千円

・老朽化した漁協施設の更新に係る費用を漁業振興基金を活用し補助する。

(事業主体)

■朝日町漁業協同組合 補助率 5/6

(整備概要)

■大型製氷機更新

水産業振興費 農林水産課

* 企業立地

(継続)企業誘致活動 1,992千円

・企業立地に向けた県外企業訪問や各種企業立地セミナーへの出展

企業立地奨励事業 商工観光課



* 商工業

(拡充)商業等魅力アップ事業

6,000千円

・起業応援事業の「空き家活用」要件を緩和し、新築店舗や自宅を改修しての起業も対象とする。

商工業振興事業 商工観光課

観光・交流(地域の魅力を高める)

* 観光

(継続)ヒスイテラス管理運営

9,209千円

- ・観光交流拠点施設(ヒスイテラス)の管理及び施設を活用した交流イベントを行う。
観光事業 商工観光課



新 ヒスイ海岸注意喚起看板設置事業

990千円

- ・水難事故を防ぐため、専用の注意喚起看板を設置し、観光客の安全を確保する。

観光事業 商工観光課

(継続)舟川桜並木周辺活性化事業

6,413千円

- ・「あさひ舟川 春の四重奏」の景観を後世に残せるよう、地元地域による保護活動を支援する。また来訪者の増加に伴い発生する交通渋滞の解消を図るため、臨時駐車場の設置とシャトルバスの運行を行い、交流人口の一層の拡大を図る。

舟川桜並木周辺活性化事業 商工観光課



観光・交流(地域の魅力を高める)

* 交流

(継続)地域おこし協力隊活動事業

70, 891千円

・都市地域から人材を誘致し、生活の拠点を移した者を、町が「地域おこし協力隊員」として任用を行う。

(実施概要)

■隊員数 R1予算 20名(継続14名、新規6名)

R2予算 19名(継続15名、新規4名)

地域おこし協力隊・企業人事業 企画振興課

(継続)サテライトオフィス事業

2, 726千円

・地方へのビジネス参入に興味がある首都圏等のIT企業のサテライトオフィスを町に誘致することにより、移住定住又は関係人口の促進、空き家対策、就労の場の確保など地域の活性化を図る。

移住定住推進事業 企画振興課

新 全国朝日会交流事業

254千円

・全国の朝日町村が一堂に会し相互の歴史・文化・風土等について理解を深め、連帯と各地域の活性化を図る。

■三重県朝日町、山形県朝日町、長野県朝日村、当町

(継続)第37回全国ビーチボール競技大会 第27回翡翠カップビーチボール全国大会 第5回全国学生ビーチボール交流大会

6, 165千円

社会体育事業 教育委員会事務局



定住（町の良さを理解し愛される風土をつくる）

* 中心市街地

（継続）街路事業 60,000千円

・人と車の安全かつ快適な交通を確保するとともに、緑豊かな魅力あるまちづくりを形成する目的から、都市の骨格となる都市計画道路等の整備を推進する。

都市計画事業 建設課

* 移住・定住

新 町営住宅長寿命化計画策定等

4,573千円

・朝日町町営住宅長寿命化計画の更新

その他 町営住宅アスベスト調査

給水管調査

住宅管理費 建設課

（継続）定住サポート事業 45,081千円

・朝日町住宅取得奨励金を「住宅・宅地取得に対する補助」、「家賃に対する補助」、「既存住宅の改修に対する補助」に区分し、町民にわかりやすい内容に見直す。

定住サポート事業 建設課

（継続）自治振興会事務員設置事業

3,840千円

・自治振興会の事務員設置に要する経費に対する補助

■設置費の60% 補助上限 480千円/地区

自治振興費 総務政策課

（継続）自治振興会活動支援事業

4,100千円

・地域の課題解決を図るための活動に対する補助に加え、より幅広い用途に活用できるよう見直しを図る。

■事業費の60% 補助上限 500千円/地区

自治振興費 総務政策課

安心・安全（町民のくらし・生命を守る）

* 防災

（継続）デジタル防災行政無線設備整備事業
364, 789千円

・2022年12月1日以降、条件を満たさないアナログ無線機器が使用できなくなることから、防災行政無線のデジタル化を図る。令和元年度に行った基本・実施設計を基に、令和2年度は、デジタル防災行政無線設備を整備する。

安全安心なまちづくり事業 総務政策課

（拡充）防災対策資機材等整備事業
2, 296千円

・災害発生時に備え、避難生活を送るために必要最低限の備蓄資機材を計画的に整備する。

安全安心なまちづくり事業
総務政策課



新 避難行動要支援者個別支援計画策定
482千円

・地域防災計画に規定されている避難行動要支援者（ひとり暮らし高齢者等）名簿を更新し、個別支援計画を策定する。

要援護高齢者対策費 健康課

新 土砂災害ハザードマップ更新
2, 948千円

・土砂災害の発生に備え、土砂災害ハザードマップを作成・周知することで住民の避難体制整備に努める。（土砂災害防止法の改正による更新）

河川維持費 建設課

安心・安全 (町民のくらし・生命を守る)

* 防犯・交通安全

(継続)交通安全施設整備事業

20,594千円

・町道に設置されている道路照明の更新のほか、通学路の点検を踏まえ、横断歩道手前に車止め等の安全施設を整備し、歩行者や自転車交通の安全を確保する。

交通安全施設整備費 建設課

* 消防・救急

新 耐震性貯水槽新設工事

30,393千円

・消防水利の増設を図り、災害時における消火活動に万全を期す。

■山崎新地内(60^m型)、泊新地内(100^m型)

消防施設費 消防署

* 有害鳥獣

(継続)耐雪型侵入防止柵整備事業

67,155千円

・山間部に設置されている簡易電気柵を5カ年計画(H29~R3)にて順次耐雪型侵入防止柵(電気柵)へ更新し、維持管理に係る負担の軽減を図る。

■R2計画延長:L=5,550m

5ヶ年総延長:L=27,720m

有害鳥獣対策事業 農林水産課

新 有害鳥獣解体処理施設整備事業

3,399千円

・有害鳥獣対策協議会が整備する解体処理施設に対し支援を行い、鳥獣被害対策実施隊の負担軽減と環境負荷の低減を図る。

有害鳥獣対策事業 農林水産課

生活基盤(心地よい暮らしを支える)

* 都市計画

(継続) 泊駅南土地区画整理事業

32,250千円

・あいの風とやま鉄道から国道8号までの周辺における耕作放棄地の解消や土地の利活用を図るため、組合施行による泊駅南土地区画整理事業を支援する。

都市計画事業 建設課

新 立地適正化計画策定 8,162千円

・医療・福祉・商業等の必要な生活サービスを確保し、安心して暮らせる都市をつくるための包括的なマスタープランとして立地適正化計画を策定し、都市のコンパクト化を図る。

■策定期間:R2~R3

事業費 :13,700千円

居住誘導区域・都市機能誘導区域の検討
誘導施策の検討・目標の検討域の検討 等

都市計画管理事業 建設課

* 道路・交通

新 橋梁・トンネル長寿命化計画策定

2,600千円

・通行者の安全を確保するため、橋梁やトンネルの修繕計画策定を行う。

橋梁維持管理費 建設課

(継続) あさひまちバス運行事業

40,980千円

公共バス運行事業 企画振興課

(継続) あさひまちエクスプレス運行事業

14,326千円

公共交通対策事業 企画振興課



生活基盤(心地よい暮らしを支える)

* 環境衛生

新 朝日町文化体育センター(サンリーナ) 太陽光発電設備等導入事業 310,200千円

・災害時の避難施設である朝日町文化体育センター(サンリーナ)に、平時の温室効果ガスの排出抑制に加え、災害時にもエネルギー供給等ができる再生可能エネルギー設備等を導入することにより、地域の低炭素化を実現しつつ、災害時の防災機能や事業継続性の向上を図る。

■ 導入設備

- ・太陽光発電設備(太陽光パネル 145.08kW、
パワーコンディショナー110kW)
- ・蓄電池設備(151.6kWh)
- ・LED照明設備(第1・第2体育館他)
- ・自立型外灯(7台)

再生可能エネルギー推進事業 住民・子ども課

* 情報共有、町民参加

(継続)朝日町再生事業

292千円

・各種団体が塾長、町長はじめ関係職員が塾生となって、各種団体の集う場や地域に足を運び、生の声や思いに直に触れ、町再生への提言をいただくことで、「町民参加のまちづくり」を実現していく。



企画費 企画振興課

* 行財政運営、広域行政

新 基幹系システム更新

35,053千円

OA化推進費 総務政策課